

宮崎からTPP問題を考える

—TPPでわたしたちの暮らしはどう変わる?—

農畜産業を基幹産業とする宮崎県。

関税・非関税障壁の撤廃をめざすTPPIは、

農畜産業はもちろんのこと、食の安全、医療、福祉、公共事業など

宮崎県の産業や地域経済、県民の暮らし全般に

とても大きな影響を与えることが予想されます。

しかしこうした影響については、TPP交渉が秘密交渉でもあることから、

わたしたちにその全貌が明らかにされているとはいえません。

そもそもTPPって何?わたしたちの暮らしにどう関わるの?

TPPIに関する推進意見、反対意見を整理し、

問題点を検討するシンポジウムを開催します。

ぜひお問い合わせの上、みなさまお越し下さい。



8/24 (日)

13:00開会-16:00終了予定
(12:30開場)

参加自由・入場無料

宮日ホール

宮崎市高千穂通1-1-33 宮日会館11F



●基調講演

「TPPとは何か」



【講師】鈴木宣弘氏
東京大学大学院教授

1982年東京大学農学部農業経済学科卒、同年農林水産省入省。1998年九州大学農学部助教授、2004年同大学院教授を経て、2006年9月から東京大学大学院農学生命科学研究科教授。専門分野農業経済学、国際経済学。「TPPで暮らしはどうなる?」(岩波書店2013年)等単著、共著多数。



●寸劇

「ある地方自治体の憂うつ」
【出演】弁護士有志(劇団てげてげ)

●パネルディスカッション

「宮崎からTPP問題を考える」
【パネリスト】鈴木宣弘氏(講師)
永野清美氏(グリーンコープ生協みやざき理事長)
(その他医療関係者、農業関係者等打診中)

主催 宮崎県弁護士会 ・ 共催 九州弁護士会連合会

問い合わせ 宮崎県弁護士会 電話0985-22-2466

TPPは、あなたに関わる問題です。

●TPPとは（内閣官房TPP政府対策本部 HP・TPPに関する「Q&A」より抜粋）

TPPとは、環太平洋パートナーシップ(Trans-Pacific Partnership)協定の略で、太平洋を取り囲む国々の間で、モノやサービス、投資などが出来るだけ自由に行き来できるよう、各国の貿易や投資の自由化やルール作りを進めるための国際約束(条約)です。

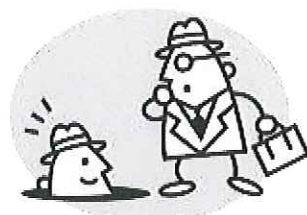
●政府がTPP交渉参加を決めた基本的な考え方（内閣官房TPP政府対策本部HP・TPPに関する「Q&A」より抜粋）

安倍総理は、TPP交渉参加に当たり、次のように述べています。「アジア太平洋地域における新たなルールをつくり上げていくことは、日本の国益となるだけでなく、世界に繁栄をもたらすものです。日本は世界第3位の経済大国です。一旦交渉に参加すれば必ず重要なプレイヤーとして、新たなルール作りをリードしていきます。日本には、美しい田園風景、農村の伝統・文化、国民皆保険制度を基礎とした社会保障制度という世界に誇るべき国柄があり、これらの国柄は断固として守ります。」

また、安倍総理は、以下の5つの基準についても、交渉を通じて守っていくことを明言しています。

- ・自由貿易の理念に反する自動車等の工業製品の数値目標は受け入れない。
- ・国民皆保険制度を守る。
- ・食の安全安心の基準を守る。
- ・国の主権を損なうようなISD条項は合意しない。
- ・政府調達・金融サービス等は、わが国の特性を踏まえる。

TPP交渉においては、交渉力を駆使し、守るべきものは守り、攻めるべきものは攻めていくことにより、経済成長や生活の豊かさの実現など、国益にかなう最善の結果を追求していきます。



でも…

- Q 関税撤廃で、米、牛肉、豚肉など日本の農畜産業が大きな打撃を受けませんか？
- Q 日本は、食料の自給ができなくなるのではないですか？
- Q 日本の食品の安全・安心が脅かされませんか？
- Q 日本の国民皆保険制度や薬価制度などの医療の安心が脅かされませんか？
- Q 労働条件や環境基準が低下したりしませんか？
- Q ISD条項で、投資家から訴えられて、国や地方自治体が巨額の賠償金を支払わされませんか？
- Q 国や地方自治体の公共事業に、外国企業がたくさん参入しませんか？
- Q TPPの交渉についての情報を、わたしたちは十分知ることができますか？

政府は「大丈夫」と説明しています。

でも…ほんとうに、大丈夫なのでしょうか？
この機会に、ぜひ一緒に、考えてみましょう。